



ブラジリアの風



あらゆる慰めに満ちた神

「神は、どのような苦しみのおきにも、
私たちに慰めてくださいます。」

Ⅱ コリント 1:4

南米ブラジル宣教のためにいつも心を寄せてお祈りくださり、ご支援くださり、有難うございます。

寝ても覚めても「コロナ」(Covid-19) 一色の生活が続いていますが、ブラジルも今なお緊迫した状況下にあります。2ヶ月前のレターでは「5月2日現在で感染者9万人超、死者6千人超」とお伝えしましたが、7月6日現在、ブラジル全土で感染者は160万人超、死者は6万5千人を上回り、米国の後を追いかけています。ここ首都ブラジリアでも、1日の感染者が1000人規模で増え続けていますが、知事が7月末からの「学校再開」の許可を出したことで、保護者や教師、学校の間で議論が巻き起こっています。

教会の身近な関係者の中にも、コロナにかかった方や職を失った方が出ています。ある夫妻は、経営していた学校内の軽食店が閉鎖され、自宅でヤキソバを作って販売したり、道端で野菜を売ったりして細々と生活をつないでいます。

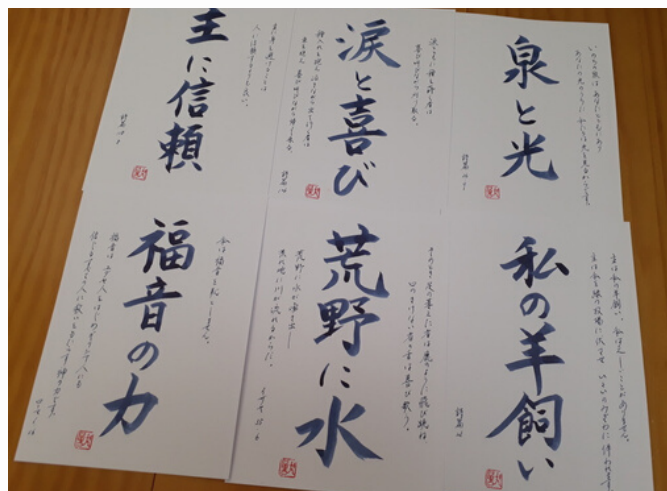


らに苦しみが増えています。

安井主任牧師は、サンパウロ在住の68歳の従兄弟をコロナで亡くされました。その数ヶ月前には実のお姉様を他の病気で亡くされたばかりでした。

身近な人々の苦難が増していくなかで、私にできることは多くはありませんが、祈りつつみことばによる慰めを語り続けることと信じて歩んでいます。毎週の日本語によるビデオメッセージを心待ちにしておられる方々がおられます（写真左上：携帯でビデオメッセージを見る石田さん三兄弟）。また「み

貧困地区で開拓伝道をしているクラウドミール副牧師は、勤めていた会社を解雇され、昨年奥様を癌で亡くされた痛みに、さ



神の言葉の力を信じて「みことばカード」を作って配布中。

ことばカード」を書いて配り始めています。教会や近所の子どもたちを励ますために「竹とんぼ」も作って差し上げています（写真右上）。

「あらゆる慰めに満ちた神」があらゆる苦しみ・痛みの中にある兄弟姉妹を支え、助け、癒し、立ち上がらせてくださるよう。

感謝の報告と祈りのお願い

- ・ 家族の健康と生活が守られていることを感謝します。
- ・ 経済的困窮の中にある兄弟姉妹に主の助けを。
- ・ 家族、教会員がコロナから守られるように。
- ・ 教会が御霊の一致でなお前進できるように。
- ・ 安井主任牧師夫妻や教会のリーダーのために。
- ・ ブラジルの政治・経済・教育が最善に導かれるように。

2020.7.6 ブラジリア 浜田献、陽子

「浜田宣教師指定」献金者一覧（2020年5-6月）

豊田神池礼教会、嵐時雄・英子、いこいのある教会、播磨礼教会、匿名（2名様）くずは聖書教会、相馬礼教会福音教会、総和礼教会、光の森聖書教会、石神井福音教会、鞭木由行渡邊賢治、波崎礼教会、松戸福音教会、安城中央礼教会、浜田 良夫、加藤碧・想・拓斗・映・暁・湊、村瀬基樹、愛宕山教会、辻村潤治、井上志乃、知立礼教会、学園前聖書教会（敬称略）

（5-6月合計） **261,662 円**

（1-6月累計） 695,212 円 【2020年目標額:160万円】

コロナ禍の大変な中、尊いご献金をありがとうございます。皆さまのご支援とお祈りに本当に守られ支えられています。